

「応援します!! あなたの農業」

あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 26 号 平成 20 年 7 月

発行元 福島市中町 8 番 2 号
財団法人福島県農業振興公社
TEL 024-521-9834 FAX 024-521-8277

“ 理事長就任にあたって ”

理事長 羽 田 徳 一



本年 4 月 1 日に財団法人福島県農業振興公社理事長に就任いたしました。

皆様には、日ごろより当公社の運営につきまして、多大なるご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、当公社は、県農政における構造政策の推進機関として、県はじめ市町村のご支援・ご協力のもとに関係組織との連携を図り、農地保有合理化事業による経営規模の拡大や、効率的な土地利用を図るための農地利用の集積等に関する事業及び青年農業者等の育成・確保や就農の促進を図るための各種事業を推進し、併せて鉱害による浅所陥没の復旧事業を行うなど県行政の補完的な公益

事業に取り組んでおります。

本県農業が、その生産力を十分に発揮し、将来にわたり食料を安定的に供給し持続的に発展していくためには、農地の所有から利用への転換による有効利用の促進と農地の面的集積を促進する仕組みの展開、経営感覚に優れた意欲ある担い手の育成・確保とともに新規就農者の安定的な確保が、現在大きな課題となっておりますことから、当公社といたしましては、農地保有合理化事業による認定農業者等への面的集積の促進と集落営農の構築に向けたモデル的な農地利用の推進、また、新規就農者の受け入れ情報の収集・発信等事業の充実強化を図り、その役割を果たして参りたいと考えております。

一方、公社の経営におきましては、平成19年3月に策定した第三次経営合理化計画に基づき、役員が一体となった事業の積極的な推進と効率的な業務の執行に心がけ、皆様の期待に応えられる組織として健全経営に努めて参る所存でありますので、益々のご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成20年度 農地保有合理化事業推進会議を開催

平成20年7月10日(木)郡山市の福島県農業総合センター「多目的ホール」において、県、市町村、市町村農業委員会、JA合理化法人等、県農協中央会、県農業会議などの合理化事業の関係者132名が一堂に会し、本年度の福島県農地保有合理化事業推進会議を開催しました。



この会議は農地保有合理化事業の円滑な推進を図ることを目的に、毎年当公社が主催して開催しているものです。

当公社の羽田理事長による主催者あいさつの後、福島県農林水産部農業担い手課の松村副課長からあいさつをいただき、会議に入りました。

はじめに、農地保有合理化事業の活用事例と国

の政策にかかる情報提供及び平成19年度公社実績について説明を行い、次に農地保有合理化事業規程の改正、公社手数料の見直し、また昨年創設された「担い手支援農地保有合理化事業」の事業内容及び事業の留意点について説明を行い、最後に今年度の業務委託契約実施方針について説明を行いました。

つづいて、県農協中央会遊佐次長から現在のJA合理化法人設立状況について説明がありました。

最後に、今回の会議を通して積極的な農地保有合理化事業の推進と公社事業の活用についてお願いと確認をして閉会といたしました。

出席者の皆さん大変お疲れ様でした。



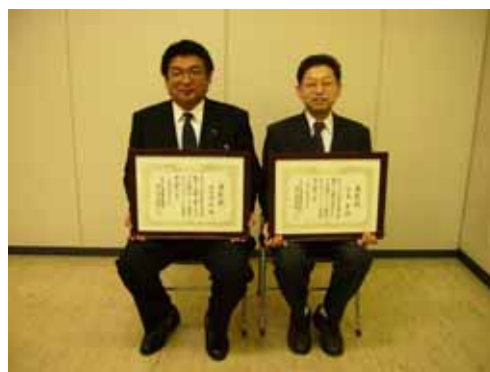
総務課

永年勤続職員表彰

去る5月30日に開催された理事会の冒頭、永年勤続職員(30年勤続)が表彰されました。

総務課長 村松清一郎(写真左側)

農地調整課主幹
兼課長補佐 宮本 繁(写真右側)



福島県農業青年クラブ連絡協議会の

主な事業計画の概要をご紹介します。

県連活動検討委員会の開催

県連活動をより魅力ある有意義なものとしていくため、執行部会とは別に本年度新たに「県連活動検討委員会」を設置し、次年度以降の活動について検討することとなりました。過去に県連会長を経験された方々も委員に含め今までに2回ほど開催しました。

活動の方向としては「学ぶ」「遊ぶ」「所得を上げる」が検討されており、広く意見を求めるためアンケートを実施することとなりました。



「県連活動検討委員会」会議風景

第18回ふくしま農見本市の開催

開催日時 平成20年8月30日(土)

開催場所 いわき市「アクアマリンパーク」

実施内容

- ・クラブ活動の紹介・PR
- ・県内農産物等の展示・販売
- ・消費者との交流(消費志向を肌で感じる)
- ・その他(仲間同士の楽しい交流)



昨年の「農見本市」風景

平成20年度アクティブステージの開催

開催日時 平成20年11月6日~7日

開催場所 二本松市岳温泉

宿泊場所 二本松市「東三番館」

主な日程

1日目 ウォークラリー
(クイズ、農業体験等)

2日目 資源循環型農業の現地視察

申込締切 一般参加者の方は、9月30日まで
福島県農業振興公社・農業青年クラブ担当者へ
申込願います。



平成20年度福島県農村青年会議の開催

開催日時 平成21年2月 予定

内容 各クラブの「プロジェクト発表」と「意見発表」



昨年の「農村青年会議」会議風景

その他組織として参加するもの

- ・第39回東北農村青年会議

開催日時 平成20年9月3日~5日

開催場所 山形県上山市

- ・第48回全国青年農業者会議

開催日時 平成21年2月 予定

今年度は、これらの事業が予定されております。

美味しいメールマガジン

「農業やってみねがあ〜い ふくしま」配信中

www.fnk-syunou.jp/mag.html

猪苗代町は福島県のほぼ中心に位置する猪苗代湖の北側に面し、磐梯山や野口英世博士の生誕地として有名な農業と観光の町です。

農業では水稲が基幹作物ですが、後継者不足や兼業農家の増加が問題となっていました。

このため、効率の良い農業へ脱皮するため、昭和62年度から県営ほ場整備事業に取り組み、平成19年度までに18地区、約2,000haのほ場整備が完了しています。

ほ場整備事業とともに21世紀型水田農業モデルほ場整備事業などのソフト事業が実施され、農業を担う個別経営体や組織的経営体への集積が進み、町内の水田面積2,576haのうち745haが基盤法による利用権設定がされています。

このうち町、農業委員会、土地改良区、JAで構成されている支援センターや農業委員会を窓口



として県農業振興公社が取り扱っている面積は478haです。また、農地保有合理化事業による所有権移転も毎年10haほどの実績があり、当町における担い手の規模拡大、農地の集団化による効率的な農業経営において、県農業振興公社が果たした役割は多大なものがあり、農業を取り巻く環境が益々厳しくなると予想されますが、その蓄積している経営の規模拡大、農地集積のノウハウに更なる期待をしています。

今月のコラム

「あなたの田舎にある農地、眠っていませんか？」

このポスターは、全国農地保有合理化協会が事務局となっている農地マーケット企画委員会が遊休農地有効利用対策として、相続等で農地を所有している都市部在住者等に対して啓発を行っているものです。

このポスターは、全国の高速道路のサービスエリア、道の駅等で配布されるフリーペーパー「Comity(コノミティー)」夏号へ広告掲載されます。

今月当公社から県内の市町村段階合理化法人20法人にこのポスターを送付しました。

関係機関の皆様にごの件でお問い合わせ等がありましたら、当公社までご連絡をお願いします。

皆さんで遊休農地ゼロを推進しましょう！

K.E



編集後記 いよいよ8月8日から北京オリンピックが始まります。日本代表選手もメダル獲得が期待される水泳、女子レスリングなどの競技がたくさんあり、楽しみな時期となってきました。

福島県勢の選手にも大いにメダル獲得が期待できる陸上男子マラソンの佐藤敦之選手、自転車の伏見俊昭選手など多数の選手が出場します。

矢吹町出身で女子400mと1,600mリレーに出場する丹野麻美選手の活躍を特に期待しています。 K.F

お問い合わせ

あて先 〒960-8681
福島市中町8番2号 福島県自治会館8F
財団法人福島県農業振興公社 総務課
TEL 024(521)9834 FAX 024(521)8277
URL <http://www.fnk.or.jp>